

## 中間とりまとめの構成案

### 1. 背景・目的

- (1) これまでの展開
- (2) 流域管理に係る課題の背景と検討の視点

### 2. 流域管理に必要なアプローチ～地域の最適解を求めるために必要な場・プロセスの構築～

- (1) 地域の最適解を求めるために必要な場の設定
  - 流域一体となった水質改善に向け、関係機関等からなる協議会を設置し、許容負荷量配分や役割分担等について合意形成
  - 広域的な調整が必要な国家的重要水域や県際河川では、協議会の運営、事業間調整において国が適切に関与
  - 地域における望ましい水環境の形成に向け、関係機関と地域住民等が連携して協議会を設置
- (2) 地域の最適解を求めるために必要なプロセスの構築
  - ビジョン・目標の共有
    - ・計画段階からの地域住民の参画
  - 地域力（地域の人材、組織等の力）の活用
    - ・地域力を活かす取組に対する手厚い支援
  - 地域の発想、創意工夫への対応
    - ・地域の多様な工夫や柔軟な発想を活かす支援制度
    - ・インセンティブ型の支援
  - 活動プロセスの重視
    - ・取組を評価する PDCA サイクルの導入
    - ・試行的な取組を育て、広めていく過程の導入

上記プロセスのうち、施策の目的及び地域の特性によって、不要となるプロセスもある。

### 3. 流域一体となった水質改善のための施策

- (1) 施策の方向性の転換
  - 時間管理による戦略的な取組推進の徹底

(2) 高度処理の重点化

国家的重要水域(三大湾等)

湖沼法に基づき指定された湖沼

地域の熱意が高く、一体的な取組が期待できるエリア

(3) 高度処理の推進方策

高度処理の計画的な推進

段階的な水質改善目標を流総計画に位置づけ

事業計画に段階的な整備目標を位置づけ

事業計画の審査において、目標の達成状況を適宜検証

流域一体となった高度処理の推進

流域内の下水道管理者が高度処理を一体的に推進する取組に対して、重点的に支援

4. 都市内における健全な水循環系構築のための施策

(1) 施策の方向性の転換

「処理や排除を優先した下水道」から「地域における望ましい水環境の形成に貢献できる下水道」への転換

(2) 施策の重点化

下水道の整備、再構築や都市構造再編と一体的、効率的な整備が可能な地域

住民の熱意が高く、適切な役割分担の下で、一体的に取り組むことが期待される地域

(3) 都市内における水辺再生、水量確保のための施策

雨水渠における開渠構造の標準化

処理水の放流方法(上流還元、分散放流等)に関する基準の確立

(4) 地域にとって望ましい雨水の活用推進のための施策

下水道施設における貯留浸透の強化

公共施設における貯留浸透施設の率先整備

家庭等における貯留浸透施設の設置

・宅地等における貯留浸透施設の設置を促進する制度導入

雨水浸透機能を担保するための制度導入

・施設改変の届出、管理協定の承継効、浸透機能維持のための基準の確立等

雨水利用の施設機能を有する下水道計画の策定